

令和 元 年度

事業評価・主要施策成果報告書

豊 能 町

目 次

一般会計	1p
歳入の概要	6p
歳出（事業評価シート）	
議会事務局	13p
まちづくり創造課	18p
総務部	
秘書人事課	24p
総務課	34p
行財政課	48p
保健福祉部	
保険課	62p
福祉課	73p
健康増進課	84p
住民部	
税務課	98p
住民人権課	101p
環境課	110p
都市建設部	
建設課	118p
都市計画課	136p
農林商工課	145p
出納室	164p
吉川支所	165p
教育委員会	
教育総務課	167p
義務教育課	185p
こども育成課	189p
生涯学習課	198p
国民健康保険特別会計事業勘定	211p
国民健康保険特別会計診療所施設勘定	221p
後期高齢者医療特別会計	229p
介護保険特別会計事業勘定	237p
下水道事業特別会計	247p

○事業評価とは

事業評価は、町が行っている様々な仕事(事業)について、年度ごとに内容を点検し、より良い事業とすることを目的とした「PDCA(※)」の取り組みです。

事業評価では、事業の点検を行うだけでなく、事業にかかる課題を発見、特定し、改善案を考え、次の計画に活かすことを目的としています。これにより、限られた行政資源(ヒト、モノ、カネ)を有効に活用し、より良いサービスとすることを目指します。

また、事業評価は第4次豊能町総合計画の施策体系に沿って行っており、総合計画に基づく施策の進行管理の役割も担っています。

(※PDCA…Plan(計画)、Do(実施・運用)、Check(検証・評価)、Action(見直し・改善)の頭文字をとったもので、「計画」から「見直し・改善」までを行い、さらにそれを次の「計画」に活かす仕組みのことを言います。)

○令和元年度の事業評価について

令和元年度は決算書に記載された全事業を対象として事業評価を実施しました。一般会計については大事業(同じ対象や意図をもった事業のまとまり)ごとに、特別会計については会計ごとにシートを作成し、構成する事務事業の内容、主な成果、課題整理、総合評価及び改善の方向性を記載しています。

うち、課題整理は現状(昨年度に生じている)の課題、中長期(今後生じられると思われる)の課題について、事業の進捗管理、内容、費用対効果の3つの視点で内容と要因を記載しています。この課題整理を受けて総合評価と改善の方向性を記載しています。

※構成事務事業の事業費について

- ・事業費は千円単位で記載しており、事業の合計額が決算書の額と異なる場合があります
- ・前年度の決算額については、今年度と同じ事業を行っているもののみ記載しています